

News Release

2009年4月27日

ディーリンクジャパン株式会社

D-LINK グリーンテクノロジーをリードする 省電力マネージメントスイッチ「DGS-3200-16/GE」を開発

ネットワーク機器・製品ソリューションをグローバルで展開するD-Link Corpの日本法人、ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リャオ)、以下:D-Link)は、省電力ネットワーク製品開発の一環として、グリーンマネージメントスイッチ「D-Link DGS-3200-16/GE」の販売を開始する予定です。

D-Link グリーンテクノロジーにより、当スイッチは自動的に使用されていないポートのリンク状況を検出し、消費電力を抑制します。リンクダウンを検出したとき、ネットワーク性能を犠牲にせずに消費電力を14.28%まで節約することができる「DGS-3200-16/GE」の省電力機能は、間もなくリリースされる新ファームウェア Ver 1.35 でサポートされます。

さらに、「DGS-3200-16/GE」は最適な動作性能のために、機器の温度を一定に維持する熱センサー搭載スマートファン機能を有しています。ファンはシステム動作温度の限界に達したときや35°Cを超えたときのみ自動的に動作し、エネルギー消費の節約し、騒音の発生を抑えます。D-Link グリーンテクノロジーにより、該当するマネージメントスイッチ製品は環境に優しいソリューションとしての提供が可能になりました。

グリーンネットワーキングソリューションの先駆けとして、D-Link は、スイッチ、Wi-Fi ルータ、ネットワークストレージ(NAS)などをグリーンテクノロジー製品ラインとして発表します。

「地球温暖化の危機が広く知られるようになり、ネットワーク機器のエネルギー効率改善に対する需要が高まっています。」とディーリンクジャパン株式会社代表取締役社長 Marty Liao.は語ります。「D-Link は性能やコスト面での負担がかからない、あらゆる環境において理想的で、革新的な節電ネットワークテクノロジーの開発を推進しています。」

D-Link は新しいウェブサイトを開始しました。(www.dlinkgreen.com) 本サイトではエネルギー消費の抑制、有害物質からの環境の保護、再生利用可能なパッケージの使用による廃棄物排出の削減など、企業としての環境保護への取り組みの方針、概要を掲載しています。また、当サイトは動作性能に影響を与えず、環境に優しい代替手段を提供する D-Link グリーンテクノロジーの概要も紹介しています。

さらに、D-Link は「D-Link Green」製品として認定する前に、全てのグリーンソリューション製品に対応が必要なプログラムを設けました。「D-Link Green」製品と認定されるには、製品は必ず次の事項を遵守していなければなりません。

- D-Link 省電力テクノロジーの導入
- 環境対応規格（WEEE、RoHS、ENERGY STAR など）への対応
- D-Link 開発の環境に優しい、持続使用可能パッケージ（環境デザインや大豆インクなど）の使用

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワーキングの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーン IT”に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。